

(様式5)

令和元年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「進路情報の提供」「適切な指導」に関するアンケート結果は、生徒および保護者・評議員共に概ね90%が「あてはまる」と回答している。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内組織体制	教務、各学年、各教科、商業専門部、工業専門部	
6 目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) キャリア教育の推進 (2) 地域に貢献できる人材の育成 (3) ガイダンス機能の充実 (4) 基礎学力等の向上 (5) 大学進学指導の強化と充実	(1) 将来に対する目的意識を持ち、主体的に取り組む (2) 望ましい勤労観・職業観の形成と地域産業の理解 (3) 進路活動への適応と主体的な選択 (4) 進路実現に向けた基礎学力の習得 (5) 語学力や専門知識を生かした進路の実現	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 学習活動全体を通してキャリア教育を展開 (2) 企業訪問、意見交換会、学校説明会等 (3) 卒業生と語る会、ビジネスプラス展、就職ガイダンス、合同企業展、学校見学会、職業理解講座等 (4) R-time、校内基礎力認定試験、外部テスト (5) 小論文指導・センター試験対策補習・講話等	(1) 指導内容の連携と充実 (2) 地域産業の理解と人材の輩出 (3) 自己理解と目的意識をもった主体的な進路活動 (4) 希望の学校、企業への進路実現 (5) 国公立大学等への合格状況	A (B) C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○商業科進学クラスおよび工業科進学グループを中心に、国公立大学に6名が合格することができた。また、その他の活動において補習授業や講話、出前授業、大学見学等を計画的に実施した。 ○保護者に合同企業展や進学相談会に参加していただき、情報収集の機会を提供して進路意識を高めていただくことができた。 ○3年生の就職実績において、関市内にある企業への内定者が増加した。 ●求人数の増加に伴い、就職活動に対して安易な考えで臨む生徒がみられはじめなど、少しずつ就職に対する意識の変化が感じられる。 ●キャリアパスポートの展開に向け、職員間の共通理解を図り実施に向けた準備が必要である。	
12 来年度に向けての改善方策案	・就職指導においては、地元企業の見学や合同企業展、ビジネスプラス展等の行事に参加して企業理解を図ると共に、就職ガイダンスや説明会を通して就業意識の高揚に努める。 ・キャリアパスポートにおいては、職員間での情報を共有して本校の実情に応じた取り組みを実践していきたい。	

II 学校関係者評価

実施年月日 令和2年1月22日

【意見・要望・評価等】

・専門高校であるため就職のイメージが強いが、進学に対応した指導も実践されている。今後の就職指導において、正しい職業観を身につけさせ就業への意識を高める指導に努めてもらいたい。